

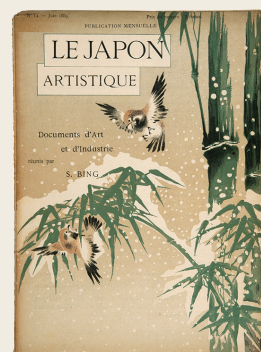


エミール・ガレ 1. 鷹に雪持松文花瓶 1898年頃 高さ 44.6cm

幕末の開国と共に海を渡った浮世絵や焼きものなど精緻をつくした日本の工芸は、ヨーロッパに強い衝撃を与え、各地で日本ブームが occurred。そこに見るあでやかな色使い大胆な構図は、印象派や世紀末の工芸改革運動「アール・ヌーヴォー」の誕生に深い影響を与えました。今日「ジャポニスム」と呼ばれるこうした現象は、「アール・ヌーヴォー」の旗手、フランス北東部の都市ナンシーに生まれたガラス工芸家エミール・ガレ(1846-1904)の作品にも表れています。色とりどりの草花が咲き乱れ、バッタやトンボの飛び交う独特の作品世界、自然を手本に、四季折々の風情をたたえた個性あふれる「ガレ様式」が誕生した背景には、日本の美学に注がれたガレの熱いまなざしがありました。本展では、北澤美術館開館35周年を記念し、世界屈指のガレ・コレクションの中から、ジャポニスム関連の作品を中心に秀作100余点を一堂に展示いたします。ガレ芸術誕生の秘密に迫る特別企画、お誘い合わせの上お越しください。



2. 笹に雀文花瓶 1898年頃 高さ 27.3cm



5. ビング編『芸術の日本』



3. 東洋人物文浮彫大皿(軟質陶器)
1878-1880年 幅 46.3cm



4. 獅子頭《日本の怪物》
1878年 高さ 12.5cm



5. 羊歯文伊万里風縁飾皿
1900年 パリ万国博覧会出品
直径 22.5cm



7. ドーム兄弟 睡蓮文鶴頸大花瓶
1909年 高さ 54.0cm
1909年ナンシー派展出品作



6. 鴨形手付籠(軟質陶器)
1877年頃 幅 33.2cm

※作品は、[7]を除きすべてエミール・ガレ作

■講演会：5月13日(土) 14:00より

講師：池田まゆみ(主席学会員)

■ギャラリー・トーク：毎月第4土曜日 14:00より約30分間

*詳しくはホームページまたはお電話でお問い合わせください。



■交通案内

JR中央線上諏訪駅下車 徒歩15分 タクシー5分
中央自動車道 諏訪ICから約15分
東京方面から → 中央自動車道 諏訪ICまで2時間15分
名古屋方面から → 中央自動車道 諏訪ICまで2時間30分
大阪方面から → 名神高速+中央自動車道 諏訪ICまで4時間30分

■駐車場

バス10台・乗用車50台



北澤美術館

KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28

TEL.0266(58)6000

<http://kitazawamuseum.kitz.co.jp/>

Kitazawa Museum of Art 1-13-28 Kogandori, Suwa-shi, Nagano-ken, 392-0027, Japan